

すすめよう！男女共同参画

問合せ 役場企画課企画調整係（内線213）

◆シールアンケート調査の結果について

6月22日(火)から7月9日(金)まで、図書館と帯広大谷短期大学附属図書館で実施した「男女共同参画図書展。」で男女共同参画社会についてのシールアンケート調査を行いました。シールアンケートとは、設問の該当項目にシールを貼って投票するアンケートのことです。

主な結果は次のとおりです。なお、結果の詳細は、町ホームページに掲載しています。

▷男女共同参画に関係する「ことば」の認知について

男女共同参画に関係することばの認知度は、表1のとおりです。DVとセクハラは常に上位にあり、ジェンダー、LGBTの認知度が高まっています。SDGs（持続可能な開発目標）はゴール5に「ジェンダー平等を実現しよう」が掲げられています。

なお、SOGI（ソジ）とは、セクシャルオリエンテーション（SO：性的指向）と、ジェンダーアイデンティティ（GI：性自認）を合わせたことばです。

表1 男女共同参画に関係する「ことば」の認知度

ことば	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	順位	投票数	順位	投票数	順位	投票数	順位	投票数
DV	1	31	1	34	1	52	2	26
セクハラ	2	30	3	33	1	52	1	27
ジェンダー	3	28	4	30	5	44	5	11
LGBT	3	28	6	27	7	39	7	10
働き方改革	5	27	1	34	3	48	-	-
男女共同参画社会	6	25	4	30	4	45	4	13
ワーク・ライフ・バランス	7	18	7	24	6	42	5	11
SDGs	8	13	8	17	9	10	-	-
女性活躍推進（法）	8	13	9	12	8	16	-	-
SOGI	10	6	10	6	10	7	8	0
マタハラ	-	-	-	-	-	-	3	25

▷ジェンダー平等について

表2はジェンダー（社会的・文化的につくられる性別）平等に関する設問です。各設問でジェンダー平等に肯定的な回答は、Q1～Q3は「そう思わない」、Q4は「そう思う」です。4つの設問においてジェンダー平等に肯定的な考え方をしている人の割合は5～6割程度です。また、Q1、Q2、Q4で「どちらでもない」つまり一概には決められないと考えている人の割合は3割以上となっています。

表2 ジェンダー平等に関する認識の変化

設問	そう思う	そう思わない	どちらでもない
Q1 「男性」は「仕事をする」「女性」は「家庭を守る」べきだ	8.3%	47.2%	44.4%
Q2 「男なのに」「女なのに」「男の子だから」「女の子だから」という言葉をよく使う	6.1%	57.6%	36.4%
Q3 「男性」は「女性」を、「女性」は「男性」を好きになるのが当たり前だ	22.5%	62.5%	15.0%
Q4 選択的夫婦別姓（氏）を認めるべきだ	61.1%	8.3%	30.6%

※各設問の投票数は、[Q1] 36、[Q2] 33、[Q3] 40、[Q4] 36です。